

杉村楚人冠。て？

杉村楚人冠 (本名: 廣太郎) は、明治末期から昭和初期にかけて日本の新聞界で活躍しました。

記事を書くことはもちろん、新しい仕組みを取り入れたリ、新聞学を作て記者を育てたりと、新聞事業に多大な足跡を残しました。また、読みやすくユーモアにあふれたその

文章から名文家として知られ、多くのエッセイやコラムを書いています。



楚人冠は我孫子を愛していました。



庭でゴルフの素振りをする楚人冠



自宅前をサイクリングする楚人冠

杉村楚人冠

記念館



書斎

楚人冠か
本を言売んだり
手紙を書いたり
した部屋です。

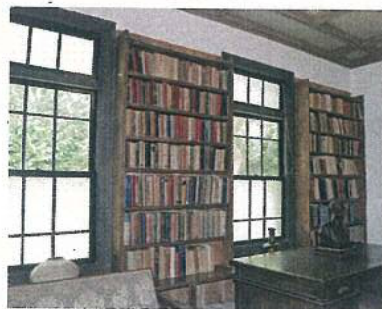
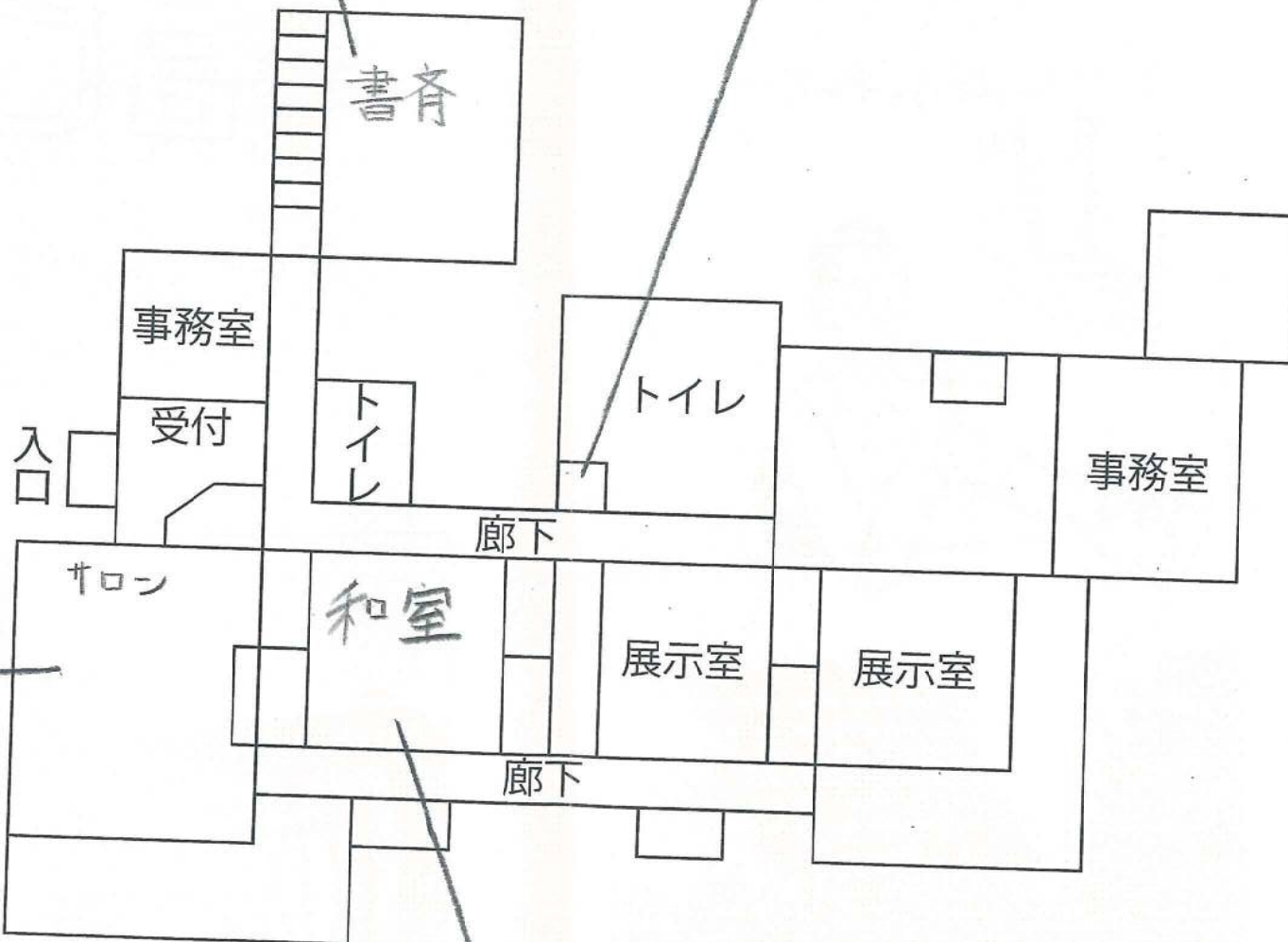


電話室

電話をすると、
交換台につながり、
交換台から、電話をしたい相手へ
つながります。

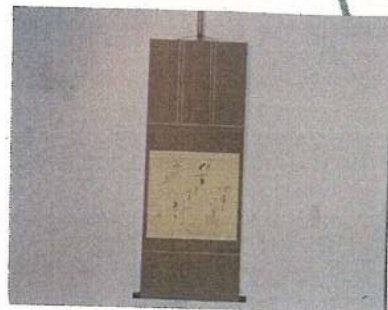


記念食宮の 間取り図



サロン

ジャーナリストの
肖像画が
あり、本た
らには本が
ぎっしり入
っていた。



和室

床の間にはかけじくか
かけてあり、茶室としても使えるように
設計されています。